



飯能ロータリークラブ会報



唐竹晩秋 Karatake in late autumn

© photo by Isao Yoshida

インスピレーションになろう

RI会長 バリー・ラシン

2570地区ガバナー 茂木 正

第3グループ
ガバナー補佐 細淵 克則

「想いを繋ぎ 地域と国の発展に奉仕する」

第 2829 例会 2018. 11. 7

—— 経済と地域社会の発展月間 ——

天 候 晴 (NO. 55-19)

会 長 島田 秀和 幹 事 馬場 正春

例会日 水曜日 (12:30~13:30) 当 番 中里(光)君、大附君

例会場：ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎ (042) 975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局：飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町 1-7

☎ (042) 974-3111(代) FAX (042) 973-1662

http://www.hanno-rc.org/

E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点 鐘 島田会長
- ・ソング 君が代 奉仕の理想 四つのテスト
- ・卓 話 田辺 實副会長

【会長報告】

今回は柏木会員にお世話になりました。親睦活動委員会の方、有難うございました。

10月末、吉田(行)会員のお母様のご逝去。飯能まつり後の昨日訃報を流させて頂きました。

20日、東松山での研修セミナーに幹事と出席。28日「駿輝祭」留学生スピーチコンテストに審査員として参加。本日の理事会で新会員2名の承認を頂きました。大野様(東吾野)と昨日夕方決まった都築様(双柳)、共に60代です。目標は6名。年内にある程度片を付けたいと思いますのでご協力お願い申し上げます。

副会長に素晴らしい資料を作って頂きました。今日は皆さんで飯能クラブの将来を考える例会にしたいと思います。

情報が無くて分からなかったのですが、ケガで1か月程入院され退院された大木会員のお見舞いに幹事と行って来たいと思います。

【幹事報告】

11/21事務局引越しをお手伝い頂ける、力のある方、5、6人を私の方で選ばせて頂きたいと思っております(13~15時)。「はんのう生活祭」ポスターを掲示しました。

11月ロータリーレート1\$ = 112円。

【委員会報告】

◎会員増強委員会 本橋君

8/8バズセッションのご意見をまとめ、配付しました。「量より質」という方も居りましたが、人口千人に会員1人が相応しいとも言われ、飯能は「80人」を目標にしないと

いけないのかなと思うところでもございます。無理を言ってもいけないので是非増強のための情報を頂ければと思っております。「資料が欲しい」との意見もあり、たくさん用意して持参しております。お声を掛けてください。

◎国際奉仕委員会 矢島(高)君

10/28(日)第32回駿輝祭のイベントとして第23回目「日本語スピーチコンテスト」に審査員として参加。9名が発表、最優秀賞はネパールからの留学生(4年生)でした。島田会長より「飯能RC賞」として表彰状、賞品の授与とご挨拶がありました。1/30優秀者5名の方に卓話して頂く予定。皆さん立派なスピーチでしたので期待したいところです。

【出席報告】MU、無届欠席0 細田(伴)出席向上委員

会員数		当 日		前々回修正
全 数	対 象	出席数	出席率	出席率
59名	6名	49名	83.05%	81.36%

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

・田辺さん、卓話よろしくお願い致します。お話楽しみにしております。

矢島(巖)君、本橋君

・ムーミン・メッツァが9日にオープン致します。皆様にお世話になりました。今後愛されるテーマパークになれば幸いです。

矢島(巖)君、細田(伴)君

・早退します。 服部君、吉澤君

本日計6,000円、累計額281,001円。

◎14日例会当番は小川、大野(康)会員です。

【卓 話】

飯能ロータリークラブを考える パートⅡ ～将来に向けて～

飯能RC 田辺 實 副会長

島田会長のテーマの下、「伝統ある飯能RCを学ぶ」とあり、卓話をさせていただきます。私もRCに関して基本的な事で知らない事が多いのに気付きました。そこで最低限この位は理解しておかなければならないと思うところをこの機会に整理してみました。私より後に入会された36名と共に勉強し、20名以上のパスト会長におかれましては、私の至らないところをご指導頂ける材料になればと思っています。

「RCの歴史」一表にしました。RIは1910年、16のクラブ、1,085人の会員によってシカゴで設立。現在は35,887クラブ、1,237,694人の会員だそうです。日本では1920年、東京RCが米山梅吉、福島喜三次ら25名で設立。51年に全日本の地区が75のクラブ、2,947人の会員によって出来、現在は34地区、2,265クラブ、89,544人の会員となりました。77年に埼玉地区、89年に埼玉西北部(現2570地区)が設立。45クラブ、2,591人。現在は51クラブ、1,638人で、950人減っています。東京RCがスポンサーで51年、埼玉初の川越RCが国内69番目のクラブとして創立。飯能は643番目、地区では51クラブ中12番目です。第3グループは入間・所沢・狭山・飯能・日高の11クラブ(376名)。飯能は64年、飯能・日高の36名で平岡文夫会長の下、スタート。スポンサーは武蔵(現・入間)RC。飯能がスポンサーとなり69年、越生毛呂RC、83年、日高RCが設立。

「バナー」当初は山と材木、繊維を取り入れた図案でしたが、創立30周年で新たに製作し、40周年には中里(昌)パスト会長の下、市のシンボルマークを入れて製作し、50周年には「クラブ旗」を新調しました。「…それぞれの色を糸の状態に染色し8色により最大限に表現、他のクラブのバナーがほとんどプリントで製作されているのに対し織りで仕上げました。カラフルで色合いも良いこのバナーを大型化して何とかクラブ旗に出来ないか…。その後、新設備の導入と共に作成が可能となり、50周年に際し織り上げ完成する事が出来ました。これを機にクラブの更なる発展を期待しております。新しい試みとしても、ものづくりに対する様々な収穫があり、『奉仕は自分自身のためにある』というロータリーの教えそのものの結果となった次第であります」との事です。

「記念事業」10周年に交通安全の看板設置(昨年撤去)。20周年に市役所の国旗掲揚塔設置。30周年に阿須運動公園に時計設置。40周年に飯能駅北口ロータリーに時計設置、50周年に駅南口に時計塔設置。

「ロータリーとは」利他の心を養い、人を育てると共に、献身的な奉仕活動を行う世界的な団体です。人道奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道德的基準を守る事を奨励し、且つ世界における親善と平和の確立に寄与する事を目指した事業および専門職種に携わる人が世界的に結び合った団体です。

「奉仕の理念」2つ。1つは職業奉仕理念「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」。もう1つは人道的奉仕理念「超我の奉仕」。

「決議23-24」23年、セントルイス国際大会で決議された重要な原則。社会奉仕を認めつつ、ロータリーたる謂は職業奉仕にある事を明確にした。2つの奉仕理念をロータリー哲学として確立した決議で、結果、社会奉仕を重視する17のクラブ会員が退会、ライオンズクラブが設立された。

「1. ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。こ



の哲学は奉仕『超我の奉仕』の哲学であり、『最もよく奉仕する者、最も多く報いられる』という実践理論の原則に基づくものである。』21年、ロータリー哲学に関して、A.F.シェルドンがエジンバラ国際大会で31頁に及ぶ講演をやっていましたので、一読されるとご理解頂けるかなと思います。「4. 奉仕するものは行動しなければならない。」理念ではなく実践哲学。第6条には社会奉仕実践の指針として「他と重複する奉仕活動の禁止」が謳われる。奉仕活動の原則は個人奉仕で、クラブが行う行動はサンプルに過ぎない。あくまでもロータリーは個人奉仕であるとの決議です。「クラブは協力団体のメンバーとならない事」とあります。この辺は重要なかなと思います。

「職業奉仕」ロータリーが他の奉仕団体と本質的に違う点は職業奉仕の概念をもっている事。職業奉仕の理念を捨て去ってボランティア組織に移行する事の愚かさを自覚しなければなりません。職業奉仕はあくまで個人奉仕であるという原則は貫いていくべきでしょう。87年の声明文には「職業奉仕はクラブと会員双方の責務である」との新方針が出ています。

「社会奉仕」クラブの所在地域内に居住する人々の生活の資質を高める事。「国際奉仕」国際理解、親善、平和を推進するために会員が行う活動から成る。

「青少年奉仕」インターアクト、ロータリーアクト共に飯能には無い。「青少年交換」92年、大野康夫年度、吉田第3分区理事の時に2名の学生が飯能から派遣されております。

「四つのテスト」「真実か」は「事実か」、「公平か」は「公正か」、「好意と友情を深めるか」は「商取引が店の信用を高めると同時により良い人間関係を築き上げ取引先を増やすかどうか」、「みんなのためになるか」は「全ての取引先が適正な利潤を得るかどうか」である。

「親睦」1週1回の例会に集い、例会の場で職業上の発想の交換を通じて、分かち合いの精神による事業の永続性を学び、友情を深め、自己改善を図り、その結果として奉仕の心が育まれる。この例会に起こる一連の活動の事を「親睦」と呼ぶ。親睦会やゴルフ会に参加する事は「親睦活動」に参加する事であって「親睦」とは違った次元のもの。「親睦」というロータリー本来の運動を高めるために補助的に活動する事です。「親睦活動委員の任務」会員相互の親睦を深める最適の場所は毎週1回の定例の例会である事を忘れてはなりません。例会において、如何に友情を深めるかを考え実行する事、真の親睦が保たれるような環境を整備する事が最大の任務。友情溢れる例会を通じてロータリアンがお互いに切磋琢磨し自己改善に努める事で、ロータリーの説く親睦が一層深まり、奉仕の心が高まっていきます。

「R財団」飯能は一人当たり年次寄付150ドル、恒久寄付30ドル、使途指定寄付30ドルを納めています。地区補助金を活用する必要があるかと思えます。

平成30年12月のプログラム (月間テーマ 家族月間)

月 日	例会数	行事予定	当番 [担当委員会]
12. 5	2,833	年次総会	大野(泰)君 齋藤君 [会長・幹事]
12.12	2,834	【結婚・誕生日祝】 クラブ協議会	杉田君 沢辺君 [会長・幹事]
12.19	2,835	クリスマス家族会	坂本君 鈴木君 [親睦活動]
12.26	2,836	例会取消(定款による)	